令和6年度 第3回学校運営協議会

R7.2.12(水)14:00～ 唐津青翔高等学校 産社室

1 開 会

2 あいさつ【会長】

- ・青翔高校には10月の国スポ等、多方面で玄海町に協力していただいた

3 協 議

(1) 今年度の取組について

学校評価 最終評価について【教頭】

- ・学校関係者評価は本日の運営協議会后
- ・学校評価アンケートの結果を踏まえてB評価

学校評価アンケートについて【教頭】

- ・保護者、生徒、教職員との認識の差がある
- ・生徒指導面の意見が多く記載されている
- ・自己肯定感の醸成は生徒、職員共に向上

学校行事、学校生活について【教務主任】

- ・10月国スポボランティアへの参加
- ・学校祭の開催日程の変更（10月と11月の2部開催）
- ・現2年生昨年度より出席率減、遅刻数増
- ・現3年生昨年度より出席率増、遅刻数減
- ・特定の生徒が遅刻、欠席を繰り返している

進路先決定状況について【進路主任】

- ・内定率100%（内1名進路未定）
- ・就職が75% 進学が25%

学校生活の状況について【生徒指導主事、保健主事】

- ・服装等の着こなしが改善されない
- ・指導方法について改善をしていく必要あり
- ・部活動の加入率が低い（アルバイト・バスの時間が要因か）
- ・人間関係のトラブルが多い、異なる価値観を受け入れられない
- ・バスの乗車マナーが悪い
- ・第3の制服（ブレザー、スラックス）
- ・各種検診予定通り完了
- ・7割の生徒が視力B以下
- ・スクールカウンセラーの使用について、生徒利用後、担当職員も面談
- ・コロナ、インフルの出席停止減

地域連携について【企画部主任】

- ・総合学科発表会、1, 2年生から来年度に向けた前向きな感想
- ・各系列、部活動で地域の事業に積極的に参加
- ・花いっぱい運動、年2回実施、延べ100人の生徒が参加

質疑応答

- ・稲刈りや餅つきなど地域と連携して食育を積極的に行っていただいてありがたい、保護者も参加できるとなお良いと思う【委員】
- ・学校評価についてアンケートの質問はどのような聞き方なのか【会長】
→資料の通りの文言でアンケートを実施【教頭】
- ・保護者、生徒、職員のアンケート結果の差異に重点を置くと良いのでは？
- ・今年度の3年生（環境系列）は非常に良かった【委員】

(2) 学校運営協議会の協議内容を生かした取組について【主幹教諭】

- ・様々な研修を通してコミュニケーション能力が向上
- ・来年度は九州大学と連携したサポートプログラムを予定
- ・校則について生徒自身が考える機会を

質疑応答

- ・のるーと玄海は学校の時間に間に合う運行ダイヤか【委員】
→間に合う時間帯で予約が取れば【事務長】
→生徒が学校に来やすい体制づくりを

(3) 重点的取組と来年度に向けて【校長】

TSUNAGARU プロジェクトについて

- ・校舎リノベーション令和7年度着工、寮の整備
- ・県内外から多様な生徒が入学（上場地区4中学校の半数が青翔高校へ）
- ・大学進学者を増やす
- ・コンソーシアムによって地域との協働

探究学習の充実

- ・リノベーション施設を利用
- ・課題解決学習促進（地域との協働）
- ・玄海みらい学園との連携

生徒指導から生徒支援へ

- ・校則の見直し（生徒と共に決定していく）
- ・支援体制の充実
- ・生徒同士の支え合い、助け合い（ピアサポートプログラム）

質疑応答

- ・生徒の声を聴きながらサポートができると良い【委員】
- ・やってみないと分からないこともある【委員】
- ・学校評価の質問項目（言葉）が難しいのではない【委員】
- ・楽しいだけでなく学校で身につくものがあるのか【委員】
→デジタルに触れる機会が増えることで取れる資格もあるが教員だけの指導では難しくなってくる。コンソーシアムを利用して地域の人に指導をしてもらうことも考えている。資質能力（コミュニケーション能力など）の向上を目標にしている。【校長】
- ・生徒の遅刻欠席についてどのような理由が多いのか、改善されたのか【委員】
→寝坊、体調不良が多い。その場では納得するが、繰り返すため改善はあまりしていないのが現状【教務主任】
- ・eスポーツについてもふるさと（玄海町）に関わりがあると良いのでは【会長】
- ・海外との交流（韓国以外にも）【会長】
- ・特別支援について玄海みらい学園との連携【会長】

4 その他

5 閉会